



子宮がん、乳がんは怖くない
女性のがんは定期健診で早期発見・予防で安心②

受けていますか？ 年1回の健康診断。女性特有の病気、子宮がん、乳がんは、今では早期発見、早期治療で回復を期待できる病気といわれています。そのためには、定期的な検診を欠かさないこと。町では皆さまの検診受診料を支援していますので、ご自分の体の健康チェックに積極的に役立ててください。

町では昨年より、女性特有のがん検診を気軽に受診していただくための推進事業を行っています。女性の皆さんに気軽に健康チェックをしていただくため、子宮がん、乳がんの検診用に無料クーポン券を配布。さらに今年からは子宮頸(けい)がんの検診受診料を一部助成する事業も始まっています。

しかし無料クーポン券を利用して検診を受けた方は、両がん検診ともに、まだ配布対象者の2割弱に過ぎません(申し込み者も含む)。特に若者の受診率が低く、20歳の子宮がん検診は受診者ゼロという現状です。昨年の受診者もわずか1人で、若い方の関心度が低いのが現状です(10月末現在)。

は、若年層の発症が年々増加しており、発症すると、年齢が若いほど進行が早い、という特徴があります。町の検診で発見される方は、実は若年者が多いというのが特徴です。

無料クーポン券の有効期限は来年の2月末。受診の機会を逃してまだ検診していない女性の皆さん、自分の健康チェックにどうぞご活用ください。

▼対象は節目年齢の女性

今年6月にお配りした検診無料クーポン券の対象となる年齢の方は、前年度に以下の年齢になった方です。

子宮がん	20歳、25歳、30歳、35歳
乳がん	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳

子宮頸がん検診の受診料一部助成

子宮頸がん検診(細胞診+子宮超音波検査)を受ける場合、旭川がん検診センター以外の旭川市内の医療機関でがん検診を受ける場合の助成制度です。検診を受診後、保健指導室窓口で助成を受けるための申請をしてください。1千500円を補助します(単独

検診を受ける手順

旭川がん検診センター 子宮がん、乳がん (無料クーポン券対象者も同様)	他の医療機関(旭川市内) (子宮頸(けい)がん一部助成)
1. 個別検診で予約 旭川がん検診センター ☎53-7111	1. 連絡 役場保健指導室
2. 役場保健指導室に連絡 「がん検診受診券」を発行	2. ご希望の医療機関に予約 (予約なしで受診可能な場合もあり)
3. 受診 ・同時に他のがん検診、特定健診も受診可 ・料金は「平成22年度健診のご案内」参照 ※ 大雪地区広域連合国保者半額料金 ※ 無料クーポン券利用の場合無料	3. 受診 医療機関から請求された料金を支払う
	4. 申請 ・領収書原本、結果表を添付 ・印鑑、金融機関口座が分かるものを持参 ⇒後日1,500円を指定口座に振り込み

の子宮超音波検査、子宮体部がん検診、その他の検査は対象外)。かかりつけ医で毎年検診を受けている方、旭川がん検診センターを利用しにくい方は、この制度の利用をご検討ください。